

## 近海鮪漁場調査 第1次

### I 経過概要

#### (1) 調査期間

自1957年10月10日 至1957年10月16日

#### (2) 調査位置と漁場

10月10日出漁準備を完了し午前11時40分泊港を出帆、翌11日午前5時予定漁場の東経125度41分 北緯27度00分の地点より操業開始し以後3回の延縄試験と1回のばいか1本の釣漁業試験を実施し16日午後2時泊港に帰港した。

#### (3) 試験操業位置

No1 北緯27度、東経125度41分。No2 北緯26度53分、東経126度46分。No3 北緯25度8分、東経126度20分、No4 北緯26度24分、東経126度50分

#### (4) 結果

##### (イ) 各漁場に於ける試験概況

第1回東経125度41分北緯27度00分当漁場は久米島北西方100尋線曲り附近に立し潮流SEに約1節の速力で流れ透明度21米水深254度Cを示し前記位置よりNWに60鉢(3本付)投網釣数180本で延距離約7里に及び100尋線上下を横断して碇を夜明けより日没前迄漁場調査を実施したが境付悪く漁獲は、バシヨウジキ1尾、コシキリ鰈1尾計2尾で釣獲率1.11%であった。第2回東経126度46分北緯26度53分の久米島北方30里の洋上で水深は257度潮流は約1.2節の速力で(ESE)流れている模様で透明30米を示し水色も良好であった。当漁場では南々東に60鉢投網したが漁獲は前回より低下し、ナハダ鮪1尾で釣獲率0.5%で凶漁であった。第3回東経126度20分北緯26度08分の久米島西西方25里の地点よりNWに投網し延数56鉢で気象、海況等前回と約々同じ状況であったが漁獲は皆無で附近漁場は時局的に魚期が外れている様と考えられる。

(四) 延縄試験操業表 (第1表)

月日	投縄位置	揚縄位置	流向	流速	投縄時	揚縄時	所要時	水温	透明度	餌料	漁獲	備考
10月	N 27°-03' E 125°-41'	N 27°-09' E 125°-51'	NE	11.5 速	6 <sup>h</sup> -06 <sup>m</sup>	17 <sup>h</sup> -30 <sup>m</sup>	11 <sup>分</sup> 25 <sup>分</sup>	25.4	21 米	サンマ	シロウゴン ヨシキリ蝦	1尾 1尾
10月	N 26°-53' E 125°-46'	N 26°-58' E 125°-52'	ENE	12 速	7 <sup>h</sup> -35 <sup>m</sup>	17 <sup>h</sup> -55 <sup>m</sup>	20 <sup>分</sup> 20 <sup>分</sup>	25.7	20 米	・	キハダ 鯖 1尾	
10月	N 26°-04' E 125°-21'	N 25°-14' E 125°-32'	・	13 速	6 <sup>h</sup> -15 <sup>m</sup>	15 <sup>h</sup> -35 <sup>m</sup>	9 <sup>分</sup> 20 <sup>分</sup>	25.6	23.25 米	・	なし	

## 1. いか釣試験

- 場所 東経26度50分、北緯26度24分 の久米島東岸俗称御井岬  
附近距離4.5 哩
- 概況 交間集魚灯により集魚せしめたのをいか擬餌物と旧来のいか  
釣針との喰付状況を比較試験したが群をなして集魚するのがなく、4、  
5 哩内外船尾や船首或は舷側附近に来遊するのが時々見受けられるまで  
喰付が悪く魚具の比較試験も結果を見る事が出来なかつた。尙尚魚場  
附近には刺舟が40隻内外操業していたが同漁業者の言によれば先月迄  
大量に釣れたいかが本月に入ってから急激に釣獲率が低下しているとの  
ことであつた。よつてばかいかの終漁期に入ったものと推察された。  
当魚場の水温25.7 度と透明度3.6 米を示していた。
- 電気設備 120V, 200W, 1箇 刺舟漁業者は石油ランプを使用して  
いる。

## 1. 漁具破損状況

- 漁場で投縄2本切断, ヒキ山, ワイヤー各3本破損
- 漁場で投縄2本切断, ヒキ山, ワイヤー各4本破損, 旗竿1本折損
- ・ なし

## 1. 漁場高及販売高 別表の通り, 海洋観測表, 漁場及航跡別図参照

- 所感 今次試験は久米島北西端漁場附近にて操業予定の気天候次第  
に最れる矢先と観察したので途中100 尋線上を直横にして投縄し喰付状  
況を調査したが結果は悪かつたので第2回の試験は暖流水域を横断して試  
験したが見込みなく次いで久米島近海で操業したが何れも漁獲不極で調査  
を打切つたが前述の「いか」釣試験から推察して先月迄大量に漁獲された  
「いか」が今月に入り激減している状況から推して終漁期, 複魚の自然回

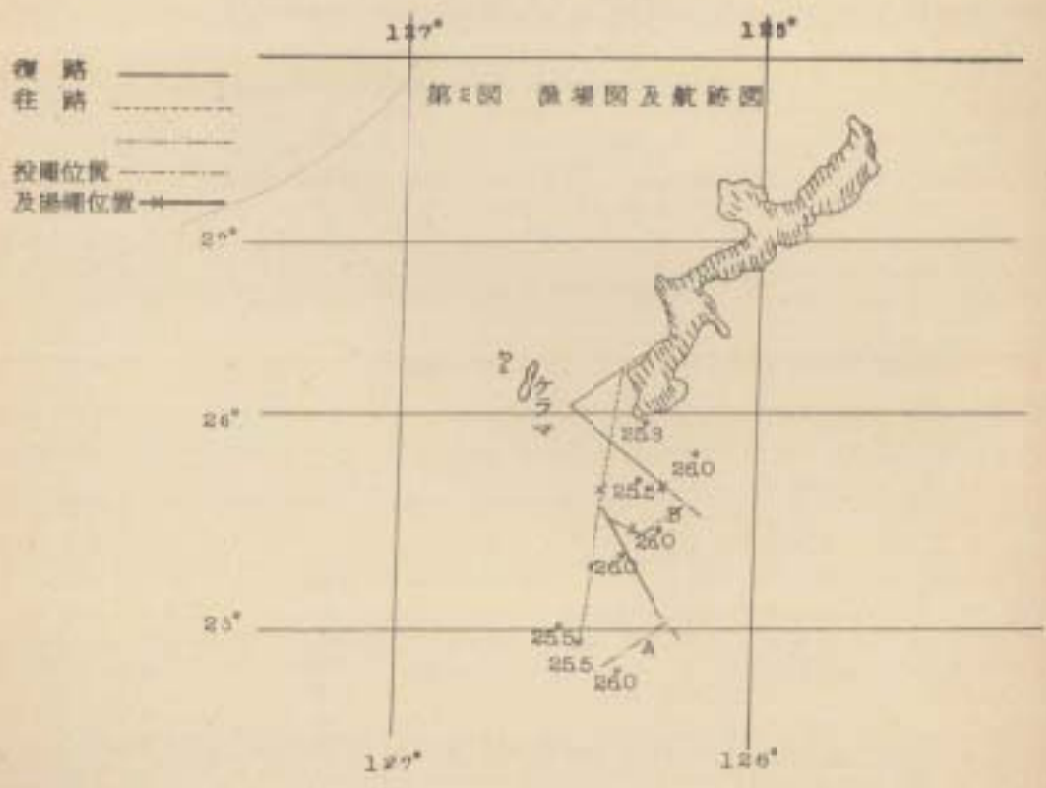
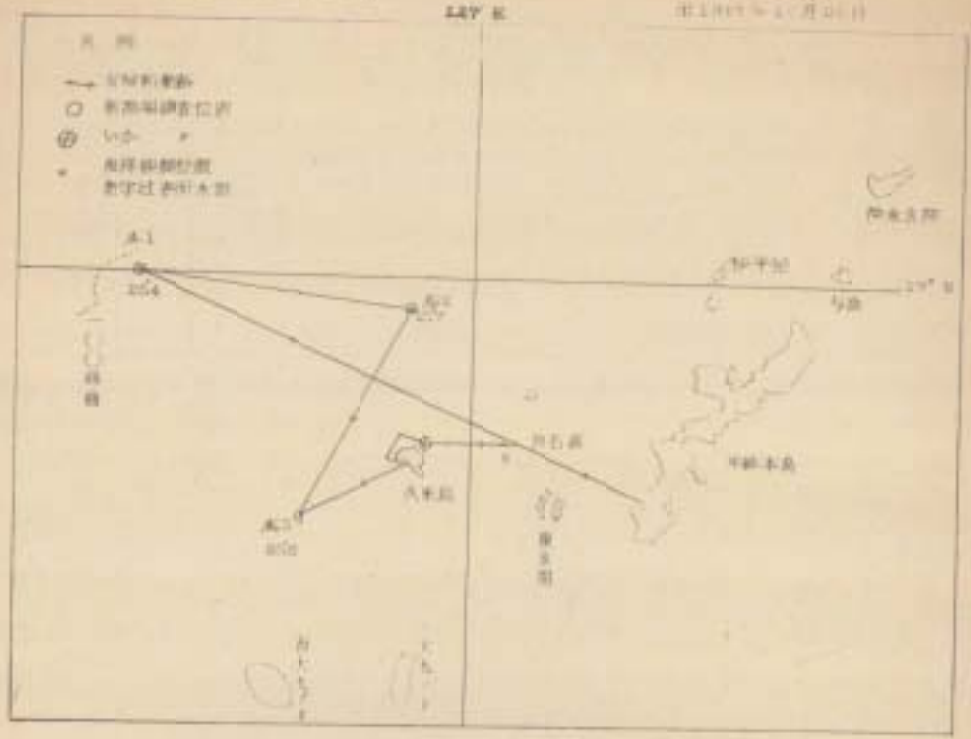
料の1種と云える「いか」が時期的に激減していることとなり従つて今回の調査魚場は終魚期に入ったものと考えられる。

1. 枝場切断状況は腐蝕に依るものと思考す。

自1957年10月10日  
 海 洋 観 測 表 至 10月16日 第2表

月日	時刻	天気	雲量	風位	風力	気温	気圧	水温	比重	水色	透明度	位	備
10月10日	15	Bc	6	NE	2	25.3	1032.0	24.2	24.31	3	3	-	岡山島#E1港
"	15	B	2	NE	4	24.1	1031.0	25.3	24.96	2	3		
10日	8	Bc	7	NE	4	24.6	1032.0	25.4	24.39	2	3	21米	N 27°-00' E129°-01'
"	10	Bc	6	NE	4	24.6	1032.5	25.0	24.32	2	3		
11日	16	Bc	7	NE	3	25.9	1031.0	25.9	24.92	2	2		
12日	8	Bc	3	NE	4	24.8	1033.0	25.7	25.17	1	3	30米	N 26°-53' E128°-48'
"	14	Bc	5	NE	2	25.0	1031.0	25.3	25.64	1	1		
12日	18	Bc	6	NE	3	24.5	1031.0	25.4	25.29	1	2		
"	8	Bc	4	NE-N	4	24.1	1031.5	25.6	25.45	1	3	22.25	N 26°-08' E126°-10'
13日	12	Bc	7	NE-N	5	24.3	1031.0	25.8	25.40	1	2		
"	16	Bc	6	NE-N	4	24.5	1031.0	25.7	25.07	1	3		
14日	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
"	12	Bc	5	ESE	3	-	1031.0	25.1	25.28	0	2	02	徳島港内
"	12	Bc	5	ESE	3	-	1031.0	25.3	25.14	0	2	02	
"	16	Bc	4	SE	2	-	1032.2	25.7	25.97	2	1	36米	N 26°-24' E126°-20'
13日	8	Bc	5	SE	2	24.7	1032.0	25.4	25.27	2	1		N 26°-26' E127°-18'
"	12	Bc	5	E	2	24.8	1031.0	25.5	25.53	2	1		N 26°-18' E127°-29'

1947年2月10日  
至1947年2月20日





# 近海鮎漁場調査

第2次

## I 調査概要

### (1) 調査期間

自1957年10月21日 至1957年10月26日

### (2) 調査位置と漁獲高

10月21日16時50分泊港出港

10月22日1時漁場着北緯25°-28' 東経127°-30' 5時迄漂流  
5時50分投縄開始7時10分終了、15時15分投縄開始、20時  
40分迄終了、漁獲マグロ3、フカ2、22時より漁場移動

10月23日1時漁場着 北緯25°-47' 東経127°40' 5時30分  
迄漂流、5時40分投縄開始、7時投縄終了15時10分台風(ジュ  
イ)情報が入つたため15時30分揚縄開始、20時揚縄終了9時船路  
に巻く。

10月24日3時 泊港入港

(3) 調査船 大島丸 30屯 65馬力 焼玉

人員 船員、船長以下9名、調査員1名、臨時漁夫4名

(4) 使用鉢数 №1 59鉢 №2 57鉢

操業状況 下表の通り (第3表)

月日	投縄位置	揚縄位置	風向	風速	投縄時	揚縄時	所要時間	水温(表面)	餌料	漁獲	備考
10.22	E 25°-30' E 127°-30'	N 25°-33' E 127°-15'	NE	15節	04時00分	18時 15分	9時5分	25.0 24.0	サンマ	マグロ3 フカ2	
10.23	E 25°-40' E 127°-45'	N 25°-37' E 127°-20'	ESE	12節	05時00分	18時 10分	9時 30分	25.0 20.0	サンマ	なし	

### 1. 漁場図及航跡図、観測表用紙の通り

#### (5) 観測表 (第4表)

月日	時間	天気	雲量	風向	風力	気温	気圧	波高	うねり	水温	比重	水色
10月21日	19h	9	2	NE	5	13.0	1020	2	1	25.8	24.5	-
*	21h	9	1	NE	5	12.9	1020	2	3	25.5	24.5	-
*	23h	9	7	NE	5	12.8	1020	3	3	26.0	24.0	-
22日	1h	0	8	NE	5	14.0	1019	3	3	25.5	24.0	-
*	3h-40m	0	7	ESE	4	14.0	1018	3	4	25.5	24.5	2
*	9h	0	9	ESE	4	14.0	1020	3	6	26.0	24.0	2

観 測 表 (第4表)

月日	時間	天候	雲量	風向	風力	気温	気圧	湿度	うねり	水温	比重	透明度
10月22日	12h	0	0	NE	3	24.0	1020	3	3	27.0	235	2
*	21h	0	7	ESE	3	23.0	1020	3	4	26.5	235	-
23日	6h-30m	0	9	WSE	3	23.0	1020	2	3	26.0	235	3
*	12h	0	5	ESE	3	24.0	1020	2	3	27.0	230	3
*	20h	0	2	ESE	2	23.0	1020	2	3	26.0	24.0	-

## 近海鯖漁場調査 第3次試験

## I 調査概要

- (1) 調査期間 自1958年4月14日 至4月27日
- (2) 調査船 大島丸 30Ton 65HP
- (3) 調査員 当直網誠, 奥平徳光, 当直正一
- (4) 調査海域

西表島, 石垣島, 宮古, 久米島の各近海 (別紙調査図参照)

## (5) 調査項目, 方法

クレモナ製縮延網 (70枚) に依る各漁場の漁況調査及海況の調査 (操業位置は第5表及第3図参照) 尚本縮網は沖縄の小型漁船には未だ利用されていない。

## (6) 調査日程

- |       |                   |                |
|-------|-------------------|----------------|
| 4月14日 | 泊港発               | 阿波瀬寄港 (天候見合の為) |
| 15日   | 阿波瀬発              | 予定漁場に向う        |
| 16日   | 航行中               |                |
| 17日   | 第一回操業             | 西表島近海 (北方)     |
| 18日   | 第二回               | " (西方)         |
| 19日   | 第三回               | " (南方)         |
| 20日   | 第四回               | 石垣島 ( )        |
| 21日   | 第五回               | 冬良間島 ( )       |
| 22日   | 第六回               | 宮古島 ( )        |
| 23日   | 第七回               | 宝山ノキ附近 ( )     |
| 24日   | マナー本約試験 (群産維持試験用) | 大九ソネに於         |

- 4月25日 第八回操業 久米島西方  
 26日 阿波連寄港 機関故障の為  
 27日 阿波連 発 泊船港

## II 深さの分布、概況

東海の深さの分布は1955年1月長崎水試との調査結果の略記述されたから今回は太平洋に面する近海調査の状況を概記する事にした。500, 1000, 2000 米の等深線は東海と略々似通った形勢で3000 米の水深は東海には見られず太平洋側では波照間島の奥く間近を通り列島沿に延びた等深線は宮古島で60 余哩、沖縄本島で30 余哩の沖合を通り更に北東に延び日本近海に達し広範囲である。沖縄の小型調査船は此の3000~1000 米の等深線内を操業海域としている模様である。尚近海の深部は沖縄の南々東凡60 餘哩の岸上 lat 25°-13', long 120 度30 分の附近から南西に細長く延びた水深7000 余米の琉球海溝が貫たつて居る。其の近傍の水深は可成りの深淺があつて鯖、かじき類の回遊条件に何らかの影響をもたらすものと推定される。更に近海には数多くの音根が点在している。

(別図参照) 註 (漁業用海図第7204号による)

## III 延縄試験概況と結果

### 1. 操業状況………下表の通り (第5表)

年月日	投縄時 開始時	方向	投縄長 投縄時	所獲種	重量	種類	投縄位置	漁具 目	捕獲位置	漁獲高	漁獲本
1955 4月27	06 00 15 25	NE SE	07 30 22 25	14.51m 4.910m	シウ	0.40	N 24°-41' E 123°-32'	70 株	N 24°-37' E 122°-25'	メジロ 7 シイラ 17 尾	015 4
4月 18日	05 20 14 00	SE SE	07 17 21 33	14.49m 3.429m	シウ	0.5	N 24°-01' E 123°-16'	81	N 24°-01' E 123°-17'	ササガ 1, シイラ 19 マカサ 1, ヒラギシラ 2 尾	247 4
* 19日	05 30 14 21	SE SE	07 37 21 00	14.53m 3.429m	SE	0.7	N 25°-42' E 123°-34'	86	N 25°-23' E 123°-44'	ササガ 1, シイラ 19 マカサ 1, ヒラギシラ 1 尾	238 4
* 20日	05 30 15 25	SE SE	07 31 21 50	14.51m 3.429m	SE	0.9	N 25°-45' E 124°-08'	85	N 25°-24' E 124°-10'	ササガ 1, シイラ 18 尾	470 4
* 21日	05 43 15 20	SE ENE	07 35 22 00	14.55m 2.443m	SE	0.9	N 25°-14' E 123°-00'	80	N 25°-17' E 123°-15'	クロマサ 1, シイラ 1 マカサ 1, ヒラギシラ 1 尾	260 4
* 22日	05 40 17 55	SE SSE	07 30 21 25	14.51m 3.429m	ENE	0.7	N 24°-24' E 123°-32'	86	N 24°-37' E 123°-33'	ササガ 1 尾 シイラ 3 尾	091 4
* 23日	05 45 15 25	SE SE	07 27 22 25	14.59m 3.457m	NE	1.00	N 24°-40' E 123°-01'	87	N 24°-24' E 123°-13'	メジロ 1 尾 シイラ 14 尾	145 4
* 25日	06 40 15 45	NE S	05 50 19 55	2.411m 3.414m	NE	0.6	N 25°-15' E 123°-04'	90	N 25°-47' E 123°-25'	メジロ 1 尾 クロマサ 1 尾 シイラ 1 尾	133 4

流速は毎時の速度



## 2 各漁場の漁況並に漁況

### ㊦ 西表島近海

(イ) lat 24° - 41' long 123° - 32'

潮流は毎時0.8節の稍々ゆるやかな速度で $\frac{5}{8}$ に流れ透明度2.8米で表面水温23.9度を示している。向同海域の北寄り部には大きく潮境を形勢している。漁獲率は0.15%で中マシロ鰯1.79%、シイラ3.34%、全漁獲重量の7割5分を占めている。本海区では、底魚類の釣獲は全く見られない。

(ロ) lat 24° - 02' long 123° - 18'

潮流は毎時0.6節の速度でゆつくり $5\frac{1}{4}$ に流れ透明度2.8米、水温24.5度で前海区より1.0度の上昇が見られた。

漁獲率は2.47%で至つて低調キハダ1.24%、マシロ鰯0.24%、ヒラガシラ0.48%、シイラ1.48%で低率であった。

キハダ中型でマシロ鰯は小型

(ハ) lat 23° - 45' S long 123° - 36' E

毎時0.7節の北東流れで割合ゆるやかな力で透明度は高く3.4米を示し水温24.8度を観測した。漁獲率はクロカワ0.23%、ヒラガシラ0.23%、キハダ0.47%、マシロ鰯1.17%、シイラ0.47%で総漁獲率2.58%で依然として低率である。

### ㊧ 石垣島南方海域

(イ) lat 23° - 43' long 124° - 06'

速度を増した北々東の潮流で0.9節を測定、透明度高く3.3米を示し、水温25度を観測した。漁獲率は鱈0.23%、マシロ鰯0.23%、シイラ3.24%、総漁獲率4.70%となっている。

### ㊨ 多良間島海域

(イ) lat 24° - 18' long 125° - 00'

潮流はNE/E 流速は前海区同様0.9節を測定透明度2.7米、水温24.2度と何れも低下している。漁獲率は2.80%で中マシロ0.23%、シイラ2.57%を示し不漁であったが、クロマダロの釣獲に注目される事も今年度の沖羅での初獲となつて居り魚体測定の結果雄で成熟している事が判つた。是つて同魚類の回遊時期又は産卵時期及産卵場等今後の調



査の指針になるものと考えられる。

#### 四 宮古島南～東方海区

イ) lat 24° - 28' long 125° - 21' 5

東北流の0.7節のゆるやかな潮流で透明度高く3.7米を示し水温24.2度を観測した。漁獲率は0.91%で中キハダ0.23%、シイラ0.68%で全調査漁獲中最低率となつている。

ロ) lat 24° - 45' long 126° - 02'

北東流の潮流で流速半まり1.0節を観測した。漁獲率は依然として低率を続け総漁獲率3.45%中メジロ鯨0.23%、シイラ3.22%で殆んどが「シイラ」の漁獲で占めている。

#### 五 久米島西方海域

イ) lat 26° - 16' lon 128° - 04'

稍濁な北東流の潮流で毎時2.6節の高速度で流れ迅々龍の附近に反流が生じ渦流状態が起つたのではないかと考えられ投網後延縄のからまりが甚だしく操業上支障を来した。透明度高く3.6米を示し水温25.6度の最高温度を示している。漁獲率は悪く総漁獲1.33%中クロウカワ0.22%、メジロ鯨0.22%、シイラ0.88%の低率である。

#### 六 魚体測定 (鯖、旗魚類)

魚体測定に当りては下記要項に準じて行った (単位はcm)

##### 1. 魚体長

イ) マダコ類 上の背端→尾又延 同) カジキ類 縦骨の後縁→尾又延

##### 2) 成熟度

I (未熟) 一卵巣には肉眼で卵粒が認められない、卵巣は肥大していない。

II (初熟) 一卵粒は肉眼で見える。卵巣はかなり肥大している。

I及びIIにおいては、卵巣の組織は割合につき中心のすき間は大きく拡つてない。

III (中熟) 一卵粒は発達し、卵巣内に充満する。卵巣は非常に肥大したものが多し。やや透明ないし透明は卵粒は認められない。

IV (成熟) 一油球のある透明な卵が存在する。時期が進むと組織から遊離した透明卵の一包が中心部に充満し運動する様になる。

V (排卵後) 一卵葉は中心部のすきまが全体に拡大し、卵葉體は比較的  
 小さい。排卵後間もない卵葉では成熟した流液部が認めら  
 れる事がある。日時の経過したものではI又はIIと見誤り  
 やすい。

魚 体 測 定 表 (第6表)

釣獲月日	魚 種	体 長	性 別	熟 度	備 考
1958年4月18日	キハダ類	132 cm	♂	IV	西表島南西海域
"	マカジキ	111	♂	I	同上
4月19日	フコカワ旗魚	168	♂	I	西表南方海域
"	キハダ類	102	♂	I	"
"	"	100	♀	I	"
4月20日	鰯	155	♀	IV	石垣島南方
21日	マハ類	172	♀	II	多良間
22日	キハダ類	127	♀	IV	宮古南方
25日	フコカワ旗魚	147	♀	I	久米島西方

V 漁場調査……………別表参照

第 四 次 試 験

I 調 査 概 要

- (1) 調査期間 自1958年5月10日～5月19日
- (2) 調査船 前回同様
- (3) 調査員 当真綱誠 越平亮光
- (4) 調査海域 喜望武呷南方沖合 (漁場図参照)
- (5) 調査項目及方法  
 前回同様 (操査位置は別表及別図参照)

(6) 調査日程

- |       |                 |         |
|-------|-----------------|---------|
| 5月10日 | 泊港発             |         |
| 11日   | 第1回操査           | 喜望武呷南近海 |
| 12日   | 第2回 "           | " "     |
| 13日   | 天候時化のため本港港内にて避泊 |         |
| 14日   | 糸巻港発            | 意嶋に向う   |
| 15日   | 第3回操査           | 喜望武呷南近海 |
| 16日   | 第4回 "           | "       |

5月17日 第5回操業 喜屋武岬南近海  
 18日 第6回 " "  
 19日 泊港に帰港 "

II 延縄試験概況と結果

1) 操業状況………次表の通り(表7表)

月日	投縄時 揚縄時	方向	投縄終 揚縄時	作業 時間	流速	流速	投縄位置	漁具 数	揚縄位置	漁獲高	漁獲率
5月 11日	04:45 18:42	SE	06:10 23:37	1430分 5415分	W	1.1節	25°-36' 127°-11'	90鉢	25°-45' 126°-45'	キハダ、ハシラ、 サワラ、メジロサメ、 ヒラガシラ、シイラ80尾	20%
12日	05:14 18:56	SE NW	06:47 16:45	1433分 3450分	W	2	25°-46' 127°-35'	90 "	25°-46' 126°-45'	マカシキ、サワラ、 メジロサメ、ヒラガ シラ、シイラ20尾	55%
15日	04:26 18:35	ENE SE	06:25 22:40	2140分 4415分	WSW	0.5	25°-50' 127°-40'	90 "	25°-47' 127°-34'	キハダ、マカシキ、 サワラ、メジロサメ、 ヒラガシラ、シイラ11尾	47%
16日	05:28 18:18	ENE NW	06:55 23:25	1427分 4140分	WSW	0.5	25°-40' 127°-41'	90 "	25°-45' 127°-41'	キハダ、サワラ、 シイラ25	52%
17日	05:20 18:25	ENE SE	07:02 21:45	1439分 3740分	WSW	0.9	25°-34' 127°-34'	90 "	25°-21' 127°-35'	マカシキ、ハシラ、 メジロサメ、ヒラガ シラ、サワラ、 シイラ6	24%
18日	05:15 18:38	NW SE	07:10 21:25	1435分 4125分	WSW	0.8	25°-32' 126°-34'	90 "	25°-40' 126°-35'	メジロサメ、メジロ サメ、ヒラガシラ、 シイラ2	38%

2) 漁況、概況

↳ 喜屋武岬南方海域

(イ) lat 25°-36' long 127°-11'

潮流はW流速1.1節の稍早い速度で流れている透明度3.2米の最高値を示し水温も高目で25.3℃を示している。漁獲率は20.0%で中キハダ0.7%、サワラ0.6%、ハシラ0.4%、メジロサメ0.4%、ヒラガシラ2.7%でシイラが全漁獲量の8割を占めているのが特に注目される。

(ロ) lat 25°-46' long 127°-35'

W流の高速度の潮流で毎時2節で流れ水温は24.9℃を示している。漁獲率は55.6%で中マカシキ14.5%、サワラ0.2%、メジロサメ0.2%、ヒラガシラ0.2%、シイラ44.5%となっている。

(ハ) lat 25°-10' long 127°-40'

潮流はゆつくりWSWに0.5節の速度で流れている。透明度2.4米水温25.3℃を示している。総漁獲率は6.7%中キハダ0.4%、



マカジキ0.45%、バレン0.22%、サワラ0.22%、メジロサメ0.67%、水フカ0.22%；シイラ2.45%となつている。

(b) lot 25°-40' long 127°-41'

海況は前海区同様WSWの方に0.6節の速度でゆつくり流れている。透明度30米、水温25.1度Cを示している。魚獲率5.23%で中キハダ0.45%、サワラ0.22%、シイラ5.56%となつている。

(c) lot 25°-54' long 127°-36.5'

潮流は少し早まりWSWに0.9節で流れ透明度25米水温24.6度を示している。魚獲率は2.45%で中マカジキ0.22%、各称(ハナモ-カジキ)0.22%、キハダ0.22%、バレン0.22%、サワラ0.22%、シイラ1.54%となつている。

(d) lot 25°-37.5' long 125°-54'

WSW 流れの潮流で0.8節の速度で流れ透明度27米、水温25.2度Cを示している。魚獲率1.089%で中マナガサメ0.22%、クロカワカジキ0.22%、メジロサメ0.67%、シイラ0.56%で本海区もシイラの魚獲が特に目立っている。

III 魚体測定 (鱈、旗魚類) 方法は前回に準ず (第8表)

約獲月日	魚種	体長	性別	熟度	備考
5月11日	キハダマダラ	127cm	♂	Ⅲ	喜屋武沖南方海域
"	"	122	♀	Ⅲ	"
"	"	70	♂	Ⅰ	"
"	バレン	173	♀	Ⅳ	"
"	"	104	♂	Ⅰ	"
"	サワラ	136	♂	Ⅱ	"
"	"	145	♂	Ⅰ	"
"	"	132	♀	Ⅲ	"
12日	マカジキ	128	♂	Ⅱ	"
"	サワラ	130	♀	Ⅳ	"
15日	キハダ	142	♀	Ⅲ	"
"	"	110	♀	Ⅰ	"
"	"	58	♀	Ⅰ	"
"	マカジキ	138	♂	Ⅰ	"
"	"	159	♂	Ⅰ	"
"	バレン	132	♂	Ⅰ	"
"	サワラ	122	♀	Ⅲ	"
"	"	113	♀	Ⅱ	"
"	"	120	♂	Ⅱ	"

第8表 (つぎ)

釣獲月日	魚 種	体 長	性 別	熟 度	備 考
5月16日	サワラ	109cm	♂	I	喜望峯南方海域
16日	キハダ	102	♂	I	"
"	"	100	♂	I	"
"	サワラ	100	♂	I	"
"	"	96	♂	I	"
"	"	116	♀	II	"
"	"	104	♀	I	"
"	マカジキ	100	♂	I	"
"	"	100	♂	I	"
17	"	不 明	♂	I	"
"	"	170	♀	IV	"
"	ハナモエカジキ	124	♂	I	"
"	バレソ	109	♀	II	"
"	サワラ	141	♀	IV	"
"	キハダ	123	♀	I	"
18日	クボカワカジキ	131	♂	I	"
"	キハダ	125	♂	IV	"

### 第 三 次 試 験

#### I 調 査 概 要

- (1) 調査期間 自1958年5月23日~6月2日
- (2) 調査員 当真剛誠、奥平盛光
- (3) 調査海域 慶良間南方海域 (第三図参照)
- (4) 調査項目及方法  
前回同様 (操業位置は別表及別図参照)

#### II 調 査 日 程

- 5月23日 泊港発 阿波連寄港
- 24 阿波連発 予定魚場に向う
- 25 第1回操業 慶良間南方近海
- 26 時化のため阿波連港に避泊
- 27 阿波連発 魚場に向う
- 28 第2回操業 慶良間南方近海
- 29 第3回 " "
- 30 第4回 " "
- 31 第5回 " "

6月1日 第6回

6月2日 泊港に帰港

II 延縄試験概況と結果

(一) 操業状況………下表の通り 第9表

日	投縄時 揚縄時	方向	投縄時 揚縄時	所要時	潮流	流速	投縄位置	漁具 数	揚縄位置	漁獲高	漁獲量
5月 5日	18:40 01:50	SE	23:05 02:25	4h25m 1h35m	WSW	1.80	N 25°-50' E 127°-43'	90体	N 25°-44' E 127°-23'	マカジキ1, メジロサメ3 ネズミサメ1, マカジキ 1, サワラ3, シイラ5尾	334
5月 22日	05:40 18:20	SW	07:20 22:55	1:40 4:35	WSW	0.9	25°-31' 127°-40'	90	25°-25' 127°-40'	マカジキ1, サワラ1, メジロサメ3, サワラ1, シイラ10尾	358
* 29日	05:45 12:20	SE	07:20 24:08	1:35 4:40	SE	0.4	25°-45' 127°-18'	90	25°-43' 127°-14'	マカジキ2, クロマノロ 1, メジロサメ6, ヒラ カシラ1	778
* 30日	07:20 12:20	SE	09:04 25:38	1:36 4:10	SE	0.5	25°-41' 127°-20'	88	25°-45' 127°-17'	マカジキ2, クロマノロ 1, サワラ1, メジロサメ3, シイラ5尾	708
* 31日	05:10 12:10	SE	07:45 25:15	1:35 4:15	E	0.6	25°-38' 127°-18'	90	25°-31' 127°-32'	マカジキ1, サワラ1, メジロサメ3, シイラ3尾	828
6月 1日	05:10 12:25	SE	05:45 23:25	1:32 4:00	E	0.6	25°-45' 127°-18'	90	25°-45' 127°-09'	マカジキ2, メジロサメ 1, メジロサメ3, サワラ4 シイラ13尾	630

□ 漁況及産況 慶良間南方近海

(1) lot 25°-50' long 127°-43'

潮流はWSWに相対早い速度で流れ1節を観測した透明度は2.3米、水温24.5度の低目となつている。漁獲率はキャハダ0.22%, メジロ鯨0.61%, ネズミ鯨0.22%, マカジキ0.45%, サワラ0.67%, シイラ1.12%で総漁獲率3.34%となつている。

(2) lot 25°-30' long 127°-40'

潮流向は前回同様で流速が0.9節と少しゆるやかになっている。透明度2.4米、水温24.8度Cを示していた。漁獲率はマカジキ0.22%, メジロ鯨0.67%, サワラ0.22%, シイラ2.23%, サワラ0.22%で総漁獲率3.56%である。

(3) lot 25°-45' long 127°-18'

本魚場は極くゆるやかな速度でSEに0.4節で流れている模様、透明度3.3米、水温24.3度Cを観測した。漁獲率は77.8%でマカジキ0.45%, クロマノロ0.22%, メジロ鯨1.34%, ヒラカシラ0.22%, シイラ5.54%



い) lat 25° -45' long 127° -205'

潮流SW  $\frac{1}{2}$  Sにゆつくり流れ毎時0.5節の速度を観測した。透明度3.2米、水温24.6度を示していた。漁獲率は70.5%で中クロマヅ0.23%、マカジキ0.23%、青ワラ0.46%、メジロ鯨0.89%、シイラ50.0%

い) lat 25° -52' long 127° -12'

W流の潮流で0.3節の速度でゆつくり流れている透明度3.5米、水温24.3度を観測した。漁獲率32.5%で中マカジキ0.22%、メジロ鯨0.67%、シイラ58.9%

い) lat 25° -47' long 127° -18'

汐流は前港区同様Wに0.6節の速度で流れ透明度2.2米で最低値を示し水温は24.4度を観測した。

漁獲率はマカジキ1.11%で増々上昇、バレン0.22%、メジロ鯨0.89%、マワラ0.89%、シイラ28.9%で総漁獲率50.0%となっている。

N 魚 体 測 定 (鮪、旗魚類) 方法は前同同様 第10表

釣獲月日	魚 種	体 長	性 別	熟 度	備 考
58.5月25日	キハダ	111cm	♂	IV	徳島県南方近海
•	マカジキ	132	♂	I	•
•	•	121	♂	II	•
•	サワラ	123	♀	II	•
•	•	124	♀	II	•
•	•	124	♂	I	•
28日	マカジキ	164	♂	I	•
•	サワラ	135	♂	I	•
29日	マカジキ	162	♂	II	•
•	•	151	♂	II	•
•	クロマヅ	208	♂	IV	•
30日	•	206	♂	IV	•
•	バレン	162	♀	II	•
•	マカジキ	146	♂	I	•
31日	•	153	♀	II	•
6月1日	•	137	♂	I	•
•	•	157	♀	IV	•
•	•	132	♂	I	•
•	•	113	♂	I	•
•	•	114	♀	II	•
•	•	176	♂	V	•
•	バレン	108	♂	II	•
•	サワラ	121	♀	I	•
•	•	139	♀	II	•
•	•	131	♂	II	-

V 漁具視察………別表参照

VI 漁具波損状況

ヒキヤマ30本、ワイヤー40本、ピン玉2個、ボンデン5本、釣針6本  
 総廻3カと、枝廻1切断 スクリューシャフトに依る。

VII 考察

1. 鰯鮪について

多良間近海で釣獲したものから推察すれば琉球列島近海に来着するのは4  
 月上旬~中旬頃から始まると考えられる。

尚鰯魚は雄で成熟直前である事、5月下旬鹿児島南沖合で漁獲したものは  
 大型進鮪で成熟している事等から推して沖縄近海でも産卵する事が予想出  
 来るか断定は出来ないのでは今後の調査に依つて明らかにされよう。

2. しいらについて

各漁場共にしいらの釣獲が目立つているが該魚は市場値段もクロマグロを  
 上回っているのでしいら延縄を作成して小型漁船で専門的に操業すれば漁  
 場の範囲も広いし魚群さえ考慮すれば将来性があるものと考えられる。

産卵期は3月~6月頃迄と考えられる。

3. 旗魚類

俗名 ハナモーカジヤ

該魚類名は参考文献や魚類図鑑等に記載されていないので和名は不明で  
 あるが沖縄では前記名称で呼んでいるが特徴マカジヤによく似ているが  
 魚体が小さい事、吻端が特別に短い事。

観 測 表 第11表

月 日	時 刻	位 置	天候	風速	風向	波高	水温	雲形	透明度	水色	比重	備考
4月16日	08		BO	219	B	2						
			4	1012	3	1	A0		232	2671		
	* 1400		BO	254	B	2						
			5	1014.5	3	1	A0		230	2625		
* 1600			B	24	B	1	B†					
			1	1023.2	2	1	B†		231	2628		
17日	0830	N 24-41	B	232	BB	2		B†	28	239	2608	
		S123-32	1	1014	3	2						
18日	0840	N 24-02	B	245	BB	1		00	34	249	2623	
		S123-18	2	1011.5	2	2						
19日	0845	N 23-43	BO	255	BB	1		00	33	246	2674	
		S123-42	3		4							

観 測 表 第 11 表 (つゞき)

月日	時刻	位 置	天候雲量	気温気圧	風向 風力	波浪 水色	雲形	透明度	水温	比重	備 考
4月20日	0800	N 23-43	BO	255	SE	3	CC	33	25	2638	
		E124-06	6	1013	4	1	OK				
	21日 0805	N 24-18	B	248	SEW	3		BT	27	24	2672
		E125-00	1	1013	4	1					
	22日 1000	N 24-28	BO	256	SEW	3			27	24.1	2608
		E125-25.5	6	1013.4	4	1					
	23日 0820	N 24-49	BO	254	E	4		CC	30	24.8	2684
		E126-02	5	1017.3	5	1					
	24日 0845	大九寶根	0	258	SEW	3		AS	34	24.9	2610
			9	1017	4	2	OU				
	*日 1600	大九ツキ 北方	BO	259	SEW	2		CI	35	25	2597
			6	1015	3	2					
25日 0815	N 25-16	0	252	SEW	4		AS	36	25.3	2684	
		7	1013	5	1						
26日 0800	0	0	245	SE	3		CC		25.3		
		8	1018	4	2	NS					
*日 1200		0	258	SEW	2		BT		25.2	2634	
		7	1013.4	4	3	OU					
5月11日	0815	N 25-36	BO	248	SEW	3		CI	29	5.3	2626
		E127-11.5	3	1012	4	1					
	12日 0820	N 25-46	0	246	NW	4		NS		4.9	2628
			9	1015	3	1					
	13日 0815		0	243	NE	4		AO		4.5	2668
			6		3	2	CC				
	15日 0805	N 25-50	BO	26	SEW	3		CI	24	5.3	2636
			4	1016	4	2	CC				
	16日 0820	N 25-40	0	24	N	3		NS	30	5.1	2621
			10	1019	4	2					
	17日 0705	N 25-29	0	241	NEE	3		NS	20	4.6	2596
			9	1011	4	1					
19日 0715	N 25-31	0	247	SEW	3		NS	27	5.2	2654	
		9	1018	4	1						
24日 1330	アヘン 港内	0	243	NW	1				4.0	2611	
		7	1012	3	0						
25日 0820	N 25-50	0	249	SEW	2		NS	23	4.3	2640	
		9	1013	3	2						
28日 1433	N 25-23	0	248	E	5		CI	24	4.8	2664	
		4	1018	5	2						
29日 1122	N 25-45	0	258	E	5		OU	33	24.1	246	
		4	1019	6	2						
30日 0805	25°-45'N 127°-23'E	BO	243	SEW	3-4		OU	32	4.6	2627	
		3	1017.5	6		CI					
31日 0650	N 25-42	8	258	SEW	2		CC	35	4.1	2631	
		2	1015	3	1						
6月18日 0645	N 25-59	8	24	SE	1		BT	22	4.4	2642	
		1	1017	2	1						



